

## Connecting Wool Project

生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻4年  
石田夏月  
ノルウェー/二ヶ月間

Connecting Wool Projectに参加し、ノルウェーにあるオスロ国立芸術大学で二ヶ月間の留学をさせていただきました。



生地授業



デザイン事務所への見学

オスロ国立芸術大学では9月と10月の終わりまでデザイン学科の授業に参加し授業は主にファッション、コスチュームに関する授業、人文、美学、技術、科学、商業などさまざまなデザインサービス、持続可能な開発、商業デザインに対する社会のニーズを追求できる環境でした。近隣の国が近いことから、大学ではさまざまな文化を持つ人達が集まり、授業の一環で開かれたワークショップではお互いの意見交換を行い、文化の違いや価値観の違いを認識でき刺激的な経験でした。



グループワークのモックアップ



ノルウェー産羊毛

グループワークでは自身を含め3人で「ノルウェー羊毛の価値」について調べました。個々で羊毛のモックアップを作り、それぞれどんな価値があるのか意見し合いアートな使い方だったり、建築分野に利用できないか、など幅広い考えを意見し合いました。



ノルウェー産毛糸を利用した帽子を制作

セルフワークでは主にKirsti先生とグループワークの視点を生かしながら、どのように羊毛で可能性を表現させていくか話し合いました。そこから、ノルウェー産の羊毛で作られた毛糸を利用したプロダクトを制作しました。たくさんの学生と意見交換することで、今までになかった価値感や、表現の仕方だったり、新たな試みに挑戦できた貴重な体験でした。



Karolinさんの作品



Christopherさんの作品

留学するにあたって、オスロでの生活は日本とほとんど変わらない印象を受けました。基本的に物価は高いですが、博物館や定期的に行われるイベントだったりノルウェーを体験できるスポットが多く、休日ひとり、街を自由に歩き回ることもしばしばでした。言葉の壁はさほど気にならず、多くの人が英語を喋ることができる環境だったので有意義な生活を送ることができました。

二ヶ月間の留学という短い期間でしたが、ノルウェーで生活する貴重な経験ができたのは、親身に指導してくださったKirsti先生と二ヶ月間共に生活を助け合った鹿野さん、周りの人々の協力とおかげだと心から感謝をしています。そこから学んだことを、今度は社会人として生かしていきたいです。